

故障と思う前に

(1)故障の内容と対策

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次のことを確認してください。

(2)故障の場合

修理が必要な場合は、販売店までご連絡ください。

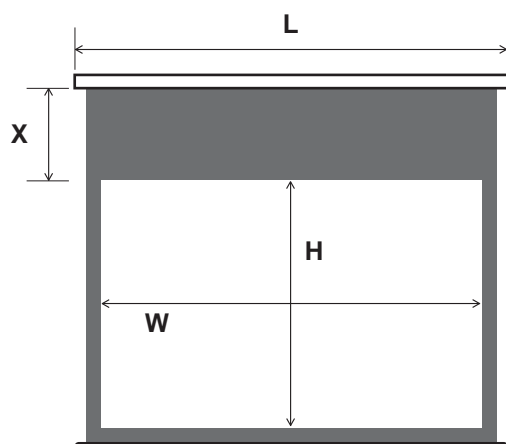
故障の内容	原因	処置
スクリーンが動作しない	電源が接続されていない。	AC100Vが確実に接続されているか確認してください。
	モーター内部の熱感知装置が働いている。	しばらくすると自動的に復帰します。

スクリーンに関するご注意

スクリーンの反射性能維持のため、下記にご注意ください。

- スクリーンに直接手を触れないでください。
- スクリーンを折る、寄りかかる、物をぶら下げるなど乱暴に扱わないでください。
- スクリーンに文字を書かないでください。筆記用具の種類を問わず消すことができなくなります。
- スクリーンのお手入れは、乾いた柔らかい布で拭くか柔らかいブラシでホコリを払ってください。汚れがついたときは、薄い中性洗剤液で軽く拭いたあとに水拭きをして、完全に乾燥させてください。
- お手入れにはベンジン・シンナーなどの化学薬品は使用しないでください。スクリーンの表面が変質し、均一な映写効果が得られなくなります。

基本仕様



品名	IS-EL150	IS-EL150HD	IS-EL150V	IS-EL170
イメージ寸法 W (mm)	3,048	3,320	3,231	3,454
H (mm)	2,286	1,868	2,019	2,591
ケース寸法 L (mm)	3,350	3,622	3,533	3,756
上黒 (MAX) X (mm)	400			
質量 (kg)	23.2	23.2	23.2	26.5

電源電圧 AC100V 50/60Hz
操作電圧 DC24V
消費電力 105VA

製造元・問い合わせ先

泉株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課 〒141-0021 東京都品川区上大崎三丁目1番1号 JR 東急目黒ビル 15F TEL : (03) 5719-7482

電動式スクリーン

IS-EL150 / IS-EL150HD / IS-EL150V
IS-EL170

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」は、スクリーンを安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

安全上のご注意の注意事項を守る

「安全上のご注意」の注意事項を必ずお読みください。

定期的に点検する

ご使用前に、スクリーンの巻き取り部や取り付け部などに、ゆがみ・ゆるみ・破損や亀裂などがないことを確認してください。点検は1年に1度行ってください。

故障したら使用しない

動作がおかしくなったり製品の破損に気がついたら、すぐに使用を中止して販売店に修理をご依頼ください。



警告

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると人が障害を負う恐れがあります。



火気禁止 熱器具のそばに設置しない

製品にはプラスチック素材を使用しているため、ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所に設置すると火災の原因になります。



禁止 スクリーンにぶら下がらない

スクリーンにぶら下がったり、物をかけたりしないでください。スクリーンが落下して大けがの原因となることがあります。



分解禁止 分解・改造しない

正常に作動しなくなるだけでなく、部品が飛び出し大けがの原因となります。



禁止 異常を感じたら使用を中止する

異臭や異音を感じたり、動作に異常が認められたときは、直ちに運転を中止して電源プラグを抜いてください。そのまま使用し続けると火災や故障の原因となることがあります。



注意 取り付けをきちんと行なう

スクリーンを天井や壁面に取り付ける際は、天井・壁面の強度を確認した上、しっかりと取り付けてください。取り付けが甘いスクリーンが落下して大きな事故の原因となります。



禁止 スクリーンを無理にひっぱらない

スクリーンを無理にひっぱると、内部のモーターが破損し、スクリーンが動かなくなることがあります。

注意

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。

注意 スクリーンを取り扱うとき

スクリーンを昇降させる際には、周りに人や障害物がないかを十分に確認してください。

禁止 子供がさわらないようにする

小さなお子様スクリーンを操作したり、スクリーンを使って遊ばないように注意してください。

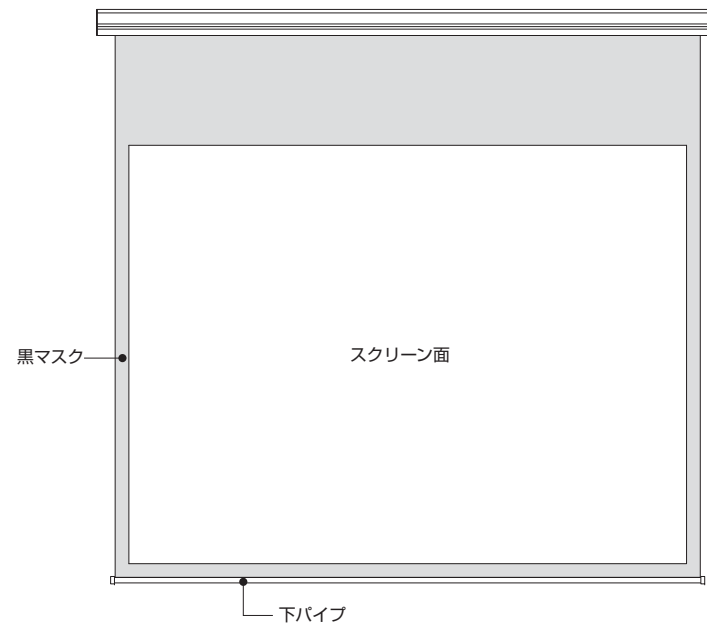
取り付け部品の名称

(1) 付属品の種類・数量の確認

梱包を開き、次の付属品がそろっているかを確認してください。万一、足りないものがある場合は販売店又は当社営業担当者まで、お問い合わせください。

スクリーン本体...×1	なべビス P=3...×6 (M4×10)
ベース金具...×3	なべビス P=3...×3 (M5×12)
スライド金具...×3	トラスタッピング...×6 (4×30)
六角ナット...×6 (M4)	

(2) 製品各部の名称

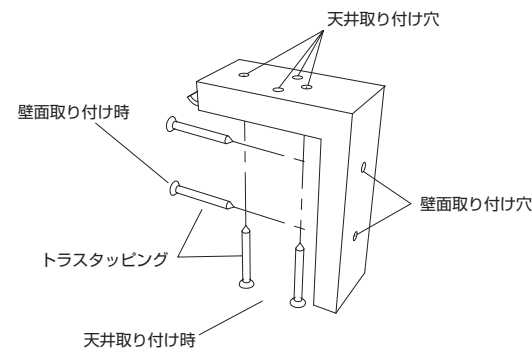


スクリーンを取り付ける

(1) ベース金具の取り付け

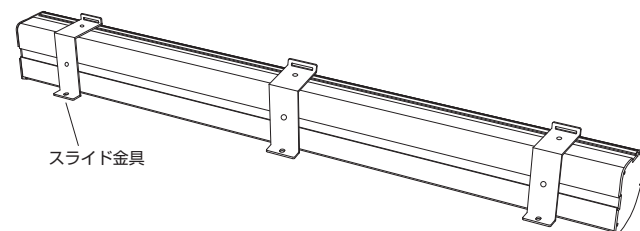
ベース金具の取り付け穴を利用し、天井または壁面にトラスタッピングを2ヶ使用し、しっかりと固定します。取付金具は必ず3個使用し、平行に取り付けてください。

警告 取り付ける場所の強度を十分に確認し、必ず強固な取り付けをしてください。脱落の危険があります。



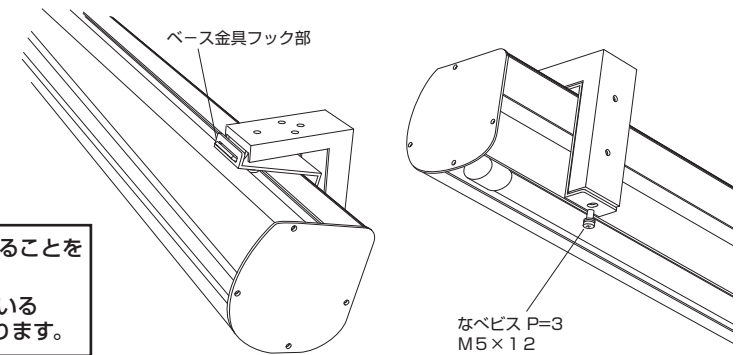
(2) スライド金具の取り付け

スライド金具1つに対して、ナットをケースの上部と後部の溝に1個ずつ入れ、なべビスM4×10で2カ所をしっかりと固定します。前記(1)で取り付けしたベース金具の左右と中心の間隔に合わせてスライド金具3個を固定します。



(3) スクリーンの取り付け

ベース金具フック部にスライド金具穴を確実に引っ掛けてください。次にスライド金具の下穴をベース金具のビス穴に合わせ、確実に締め付けます。



警告 1. ベース金具のフック部に確実に掛かっていることを確認してください。脱落の危険があります。
2. なべビスP=3 M5×12が確実に締まっていることを確認してください。脱落の危険があります。

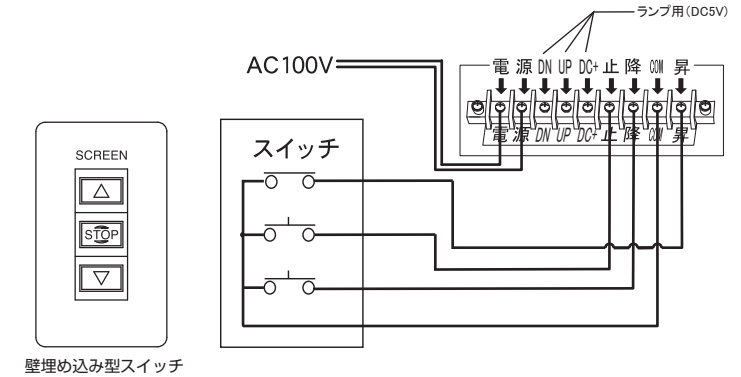
(4) 結線方法

端子台目隠しカバーを外し、電源線・操作線を結線する。

※必ず電源を切って作業してください。
※電源線はφ1.6×2C (入力AC100V) で、配管配線工事は別途です。
※操作線は0.75sq×4C (VCTF相当) で、配管配線工事は別途です。

スイッチを結線して、所定の場所に取り付ける。
※スイッチは埋め込みで、埋め込みボックスは別途です。

最後に結線が正しく行われているか(他の線と触れていないか等)を確認し、カバーを取り付けて電源を入れてください。



(5) スクリーン停止リミッター調整方法

スクリーン停止リミッターは、工場出荷時に上部黒マスク部分が400mm出た位置で停止するように設定されています。設置場所の状況に応じて上部黒マスク部分を最大400mmまで調整できます。

① 下限までスクリーンを下げます。

② 設定モードに入ります。

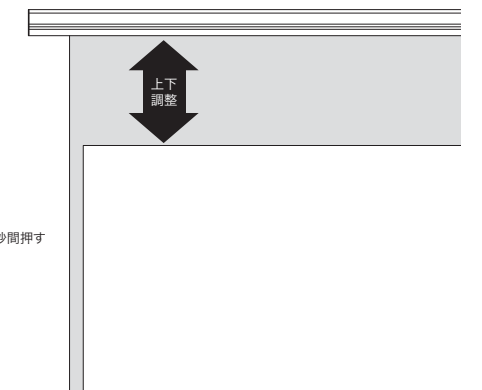
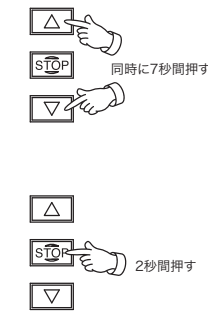
右図のように△(上昇)と▽(降下)のボタンを同時に7秒間押し続けます。スクリーンが小さく上下に一度だけ動きますと設定モードになりますので、ボタンを押すのを止めてください。

③ 設定する場所にスクリーンを移動します。

△(上昇)と▽(降下)のボタンを使って、目的の高さにスクリーンを合わせます。

④ 設定を記憶させます。

スクリーンが目的の場所で止まっているのを確認し、STOPボタンを2秒間押し続けます。スクリーンが小さく上下に一度だけ動きますと設定の記憶が完了しましたので、ボタンを押すのを止めて下さい。



警告 上部黒マスク部分を400mm以上出ると、「STOP」マークが黒マスク部分左上に現れますので、それ以上は下げないでください。スクリーンが脱落する危険があります。

スクリーンを操作する

(6) スクリーン操作方法

- スクリーンを使用するとき
スイッチ「▼」ボタンを押してください。
スクリーンが設定された位置まで降下し停止します。
- スクリーンを収納するとき
スイッチ「▲」ボタンを押してください。
スクリーンが上昇し収納されて停止します。
- スクリーンを停止するとき
スイッチ「■」ボタンを押してください。
スクリーンを任意の位置で停止できます。

(7) より美しい画像をご覧いただくために

- プロジェクターをスクリーンの正面に設置いただくことで、より良い画像をご覧いただけます。
- スクリーンに対してプロジェクター光の入射角度が大きすぎると画像が暗くなることがあります。その場合は、スクリーンにプロジェクター光がまっすぐ当たるようプロジェクター設置位置をご調整ください。
- 日光や照明がスクリーン正面や真横から当たるような環境では、鮮明な画像が得にくい場合がございます。その際はブラインドやカーテンなどでの遮光をお勧め致します。